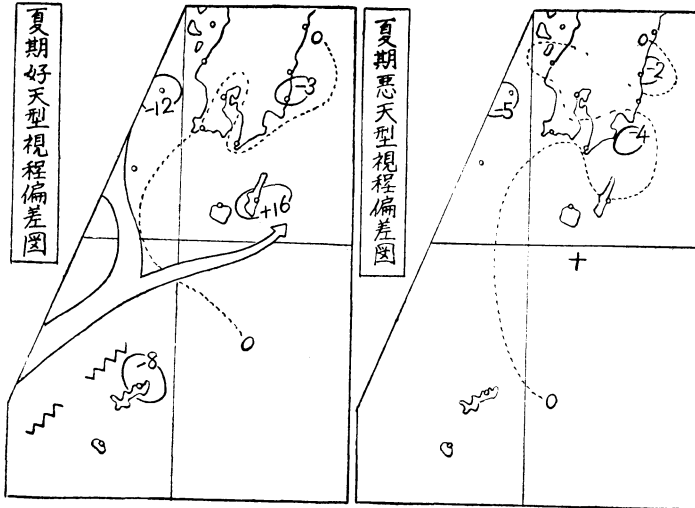


による偏差分布によって特に視程の悪い暖候期内予報上の参考とした。図は春夏に二分した標本をそれぞれ級間隔を1km にとって平均視程の偏差から作図したものであるが

1. 偏差の傾度は悪天時よりも好天時の時に顕著な区域差があらわれ視程障害時の海上見透しには区域に

線) 付近に視程の悪い海域がみられる。なお沿岸水温の偏差による相関では視程障害の有無による差異はあまりみとめられない。ただし調査を行なったのは草垣島, 種子島, 屋久島, 名瀬, 牛深の5地点である。

沿岸水温偏差と視程との相関係数



よる顕著な差異はみとめ難い。

2. 区域差を見つける手段として、好天時と悪天時の対応性を一応量的に扱った結果は(好天悪天別観測地の偏差による相関係数)、春が +0.44, 夏が +0.49 となり、じょう乱域の幅、前線活動の位置の変動に支配されて観測点における障害の有無に見られる顕著な対応性はみとめ難い。
3. 好天時には、海流図にある潮目(暖冷海水の接触

季節 障害の有無	春	夏
	無し (もやを含む)	+0.36
有り (もやを除く)	+0.57	+0.42

以上のことが推察されるが、平均視程は釣掛崎近海と奄美大島近海に悪く、総じて九州沿岸地方より海洋上が比較的見とおしは良いようである。

### 気象の英語 (4)

有住直介

4. **predict, forecast, foresee**, および **prophecy**  
 予報は普通 forecast といい、数値予報は numerical prediction という。predict と forecast とはどう違うのであろうか。C.O.D. を見てもわからない。

A.C.D. によると、predict は、天文学者が日蝕を予言するように正確に予言することを通例は意味する。しかし正確でないことにも軽く使われることもある。prophecy は神聖な超自然的な直感によって予言する場合に使われる。もっともこれもルーズに使われることもあ

る。foresee の方は言葉に発表しないで頭で見通すことを意味する。将来起ることに対して準備をすることも含むことが多い。forecast は foresee に近いが、客観的に洞察するというより推測の感の方が強い。現在では特に天気予報に使われる。

したがって数値計算で出すという意味で、数値予報には numerical prediction が使われるわけである。forecast には推測の意味が含まれるから、numerical とは「あいしょう」が悪いわけである。